令和８年度 会社概要

「菅原産業株式会社」



栗駒山麓（栗駒工場から）

菅原産業株式会社は「栗駒山」の麓、栗原市（若柳・鶯沢）から始まりました。この地は、1200 年以上の歴史をもつ細倉鉱山を擁し、稲作を中心とした農業が盛んで、栗原市全体で 16,000ha の水田が広がっています。南東にはラムサール条約登録湿地である伊豆沼・長沼が拡がり、四季折々、多くの渡り鳥が飛来し、貴重な植物や昆虫が生息する自然環境豊かな地域です。

当社は、主に水処理施設における部品製造の設計、製作、据え付け工事を担っており、部品等の製造においては重要なサプライチェーンの一部を担うとともに、施工においても上下水道や農業用施設の整備等、地域の生活に欠かせない事業を実施しています。

また、栗駒工場のほかに、仙台工場、大館工場、一関営業所を展開しており、地域の雇用創出を含む活性化に貢献しています。

菅原産業株式会社　ー水環境の保全を担うエコロジー企業ー



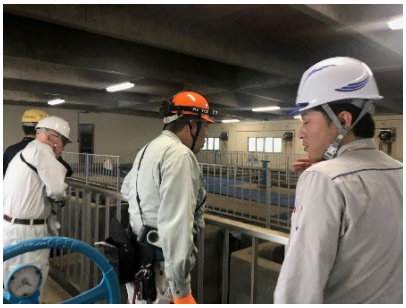
SERVICE

事業概要



菅原産業株式会社は、昭和 22 年（1947）に若柳鉄工所として創業し、昭和 24 年に菅原産業株式会社として設立、現在は、栗駒工場のほか、仙台工場、大館工場に工場を展開して、水環境保全を中心とした事業を実施することで SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献しています。

水の浄化施設、下水処理施設、水門、ダム等の保守点検等の維持管理の他、廃棄物処理施設、アスファルトプラント、除雪車の保守点検整備、ダムの管理など、地球環境の保全と人々の生活に欠かせない仕事を大切に実施しています。



浄水場メンテナンス



ダム管理



除雪車整備

菅原産業細倉運輸株式会社　－安全と信頼の運送企業－



菅原産業運輸部として金属輸送を中心に運行して参りました。平成７年に、菅原産業から運輸部を分離し、菅原産業細倉運輸株式会社として独立しました。

２．事業概要

１）一般貨物自動車運送業

金属製品・機械部品等の重量物を中心に、毒劇物、廃棄物、農産物・農業用資機材などの多様な輸送を実施しています。

震災などの災害支援物資の輸送も実施しています。

２）鉛蓄電池リサイクル事業

鉛蓄電池の分解・分別作業、フォークリフトやショベルローダーを使用した荷役作業等を展開しています。







【基本理念】

「安全衛生を第一とし、利益の追求を優先せず、顧客と地域からの信頼を積み重ねるとともに、常に時代の変化を見通して、顧客満足度の向上を図り、継続的な品質の向上に努める。」を基本理念とし、下記の社是と信条に基づいて事業を展開しています。

【社是】

一、 愛和

仕事はすべて、協力をもって成し遂げられる。
協力は愛と心のかよった和によって、生まれる。

一、 感謝

取引先の変わらぬ愛顧があってこそ会社が成り立っていることを認識し、常に感謝の気持ちをもって接する。

一、 貢献

当社は責任ある仕事の遂行を通して、又、よりよき人間関係を通して、社会への貢献をなすことを心掛ける。

【信条】

日々前進
人は仕事に鍛えられ
その人格を磨き
仕事の中から技能を身につける
面倒な仕事、困難な仕事、むずかしい仕事こそ
これを克服するたびに
人間は日々前進する

○　安全方針

常に「安全を第一」の基本理念を貫き、その実現に向けて全力で行動する。

○　環境保全方針

1)　環境関連法制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。

2)　環境教育、啓発活動を通じて、全従業員に本方針を周知するとともに、社員の環境保全意識の向上を図り、地域の環境保全活動に積極的に貢献します。

3)　ごみの焼却や埋め立て処分による環境への悪影響を極力減らすことと、限りある資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）の実現のため、3R 活動（Reduce, Reuse, Recycle）を推進します。

4)　環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

○　地域貢献

地域と環境に貢献します。道路清掃活動、地域の公共の場における草刈りや植樹活動、交通安全啓蒙活動、防災訓練などに積極的に参加しています。



栗原市総合防災訓練

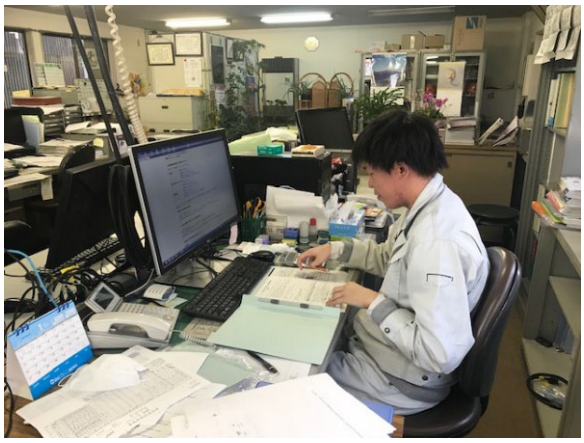


交通安全運動

先輩の声　－　菅原産業株式会社　－

仙台工場　設計部　大内　健太郎
2011（平成 23）年入社
　仙台工場の設計室で、設計、積算、図面の作成等をしています。繁忙期には残業が続くときもありますが、基本的には有給休暇は自由に取れますし、土日に出勤すれば代休が頂けるので、安心して働ける職場です。





仙台工場　総務部　島貫　峻行
2014（平成 26）年入社
　仙台工場総務部で勤怠管理や経理等を担当しています。
　工務部や設計部の方々とのコミュニケーションが大切ですが、明るくて自由度が高い職場です。



仙台工場　工務部　四ノ宮　篤史
2018 年（平成 30 年）入社
　仙台工場工務部で、整備士として主に除雪車の整備、各種プラント等の配管工事等を担当しています。
　吹雪の中で除雪車を修理に行ったり、下水処理場の汚泥を処理したりするのは大変な仕事ですが、誰かがやらなければならない仕事で、社会的責任を感じられるのでやりがいがあります。



栗駒工場　製缶　班長
菅原　孝雄
1994(平成６)年入社
　栗駒工場で、主に製缶を担当しています。要請があれば､離島や北海道へも出張しています。
　製作から据付まで一貫施工できるので、技術的に難しい仕事を成し遂げて、完成した時には何とも言えない達成感があります。



栗駒工場　機械・仕上げ　班長
千葉　瞬
2008(平成 21)年入社
　栗駒工場で、機械仕上げを担当しています。
　学生時代に野球で培った忍耐力で、困難な現場でも、ひとつひとつ丁寧に、粘り強く問題を解決して最高の品質を提供したいと心がけて日々仕事しています。



栗駒工場　営業部
佐藤　友紀
2011(平成 23)年入社
　栗駒工場で、営業を担当しています。
　鉄工部で培った現場経験を活かして取引先とは現実に対応した説明を心がけています。
　公共事業の入札準備や、民間企業との契約時には大変なプレッシャーを感じることもありますが、うまくやり遂げた時、職場の仲間と飲むビールは最高です。

先輩の声　－菅原産業細倉運輸株式会社－

平成 27 年入社
池田　悟
統括運行管理者



　大手運送会社で長らく働いておりました。現在は、配車、運行指示書の作成、積み込み時の立ち合い等の運行管理を行っています。
　当社は、中小企業ながら大手運送会社に負けない安全管理ができています。
　利益が薄い運送業の中で、安全対策のコストが重く、荷主との調整と庸車のやりくりに苦労が絶えませんが、会社が利益よりも安全対策を最優先としていることは、運行管理者にとって、やりがいがあることです。



昭和 47 年入社
運行指導者　佐々木 時雄

　親会社の菅原産業の鉄工部時代の経験を活かして、車両の修理・管理をしながら、未熟な運転手や新規雇い入れ時の運転手の添乗指導をしています。
　また、急な仕事や、急病急用などで運行できなくなったドライバーのピンチヒッターとして、様々な車種の運行をします。



平成 21 年入社
輸送班長　齋藤　和俊
　メンテ部門で、フォークリフト、ショベルローダーなど車両系建設機械のオペレーターに加えて、ダンプトラックでの輸送などを主に実施しています。
　愉快な仲間に囲まれ、日々楽しく、いい仕事をすることで、充実した日々を過ごしています。
　現在、彼女募集中です。早くいい人を見つけて、私生活も充実させたいと思っています。

平成 20 年入社

リサイクルバッテリー（RB）班長　三浦　和也



バッテリーを切って、鉛とプラスチックに分離し、それぞれまた新しい製品が生まれていく。廃バッテリーのリサイクルの仕事は、循環型社会構築の最先端の仕事です。

鉛蓄電池は、燃料電池車や電気自動車にも使用されており、今後も発展していくことが予想されます。

着実に技術力を磨き、リサイクルバッテリーのスペシャリストを目指していきたいと思います。



平成 26 年入社

佐々木　純也

バッテリーリサイクル事業を通して、溶接などの資格も着実に取得しています。

安全懇談会等における KYT(危険予知トレーニング)活動なども、真摯に取り組み、安全第一を定着させる会社です。

社内では「安全第一、利益は二の次だ」とよく言われますが、安全を確保しつつ、利益も出してしまうのが、僕のやり方です！





≪菅原産業株式会社≫

本　　社：〒984-0014
宮城県仙台市若林区六丁の目元町 9 番 35 号
TEL: 022-287-3181 FAX: 022-287-2873

栗駒工場：〒989-5401
宮城県栗原市鶯沢袋島巡前 47－1
TEL: 0228-55-2301 FAX: 0228-55-2304

大館工場：〒017-0012
秋田県大館市釈迦内字稲荷山下１６１
TEL: 0186-48-3253 FAX: 0186-48-3252

一関営業所：〒021-0851 岩手県一関市関が丘 15-12

URL: http://sugawara-sangyo.co.jp/

≪菅原産業細倉運輸株式会社≫

本　　社：〒989-5402
宮城県栗原市鶯沢南郷北沢向 3-4
TEL: 0228-55-2330 FAX: 0228-55-3506

栗駒営業所：〒989-5401
宮城県栗原市鶯沢袋島巡前 47－1
TEL: 0228-24-8630 FAX: 0228-24-8631

URL: http://sugawara-sangyo.co.jp/hosokura/